

**職業訓練（学卒者訓練）とソーシャル・スキルの関連  
：入学動機、意識、能力の高さに関する三重クロス集計による検討**  
Who has more Social Skills at Polytechnic Colleges in Japan?  
：Three-way Tabulation on Relation among motivation, attitudes and social skills

松本 暢平, 平田 彰, 新目 真紀

Yohei Matsumoto, Akira Hirata and Maki Arame

This article discusses who has more social skills at Polytechnic Colleges in Japan. With data of questionnaire survey towards two Polytechnic College in Japan (n=607), the relation among trainees' motivation, attitudes toward training, and skill-acquisition is analysed. By three-way cross tabulations and chi-square tests, trainees (1) who perceive that they can learn what they want to at Polytechnic Colleges, or alternatively, who believes skills, knowledges and know-hows acquired from training to be helpful in the future, and (2) who actively set about training have social skills than others. Some attitudes toward training relate to the level of social skills regardless of motivations, however, mostly, they relate to the social skills. Series of analyses indicate both motivation toward the vocational training and trainees' absorption relate the social skills.

Keyword: Vocational Training, Social Skills, Motivation, Attitudes, Three-way tabulation

## 1. はじめに—課題の設定

本稿は、主として高等学校卒業者を対象とする職業訓練（以下、学卒者訓練）を実施する職業能力開発大学校（以下、能開大）の受講者に対して行ったアンケート調査のデータを用いて、能開大入学時の受講者の学卒者訓練への意識（入学動機）、能開大入学後の学卒者訓練へのとりくみ方、社会人として求められる汎用的技能に着目し、三者の関連を、三重クロス集計を用いて検討することを目的とする。

近年、とりわけ大学（学士課程）教育を対象とした調査研究が蓄積されつつあり、大学の教育プログラムや教授学習方法と、専門的知識・能力ばかりでなく、汎用的技能との関連に関する研究も盛んに行われている。たとえば、知識の獲得プロセスについて着目したものとして、学問的知識と汎用的技能の獲得に、教育プログラムと学生の関与の双方が重要であることを指摘した小方直幸（2008）<sup>[1]</sup>をあげられる。あるいは、学習動機や意欲が能力獲得に強い影響力を有し、授業形態を工夫することで学生に意欲を持たせることが学習成果の向上に寄与することを指摘した金子元久（2012）<sup>[2]</sup>をあげられる。学習の量や質、方法に着目したものとして、大学生の学習時間や学習行動が大学のタイプごとに異なること、学習によって獲得される能力の違いに大学の授業特性が影響すること、教員に質問するなど、コミュニケーションが多

く行われる、あるいは、学生同士でのグループワークが多く行われる双方向型の授業が専門分野に限らない能力を伸ばし得ることを指摘した両角亜希子（2009）<sup>[3]</sup>をあげられる。さらに、獲得される知識に着目したものとして、大学教育を通じて獲得される能力が、学生のタイプによって異なり、授業内外での学習に加え、友人との交際やアルバイト等の諸活動に積極的に時間を使う学生が、コミュニケーション能力をはじめとする汎用的技能が高いことを指摘した溝上慎一ら（2009）<sup>[4]</sup>をあげられる。さらに、大学生の学習時間を、大学での授業に参加する「授業内学習時間」、授業に関する予習・復習・課題等にとりくむ「授業外学習時間」、授業と関係ない自主的な学習にとりくむ「自主学習時間」に分け、「授業内学習時間」ばかりでなく、「授業外学習時間」、「自主学習時間」が学生生活の充実と学習意欲の高さに結びつく可能性に言及した溝上（2009）<sup>[5]</sup>をあげられる。自主学習時間の多寡に着目したものとして、専門的な学習の成果には、それが一部の専攻分野でしか正の効果がないのに対し、汎用的技能の成果には、専攻分野の違いにかかわらず正の効果があることを指摘した谷村英洋（2009）<sup>[6]</sup>をあげられる。同様に、授業をはじめとする大学での正課内での学びとアルバイトやサークル活動などの正課外活動の多寡に着目し、正課内・外双方の学びに時間を割く学生が、汎用的技能の獲得度が高い可能性に言及した山田剛史ら（2010）<sup>[7]</sup>をあげられる。数多くの研究が汎用的技

能に言及するのは、金子元久（2012）<sup>[2]</sup>が指摘するように、大学教育により、学生がその中軸と位置づけられる専門的知識・技能ばかりでなく、汎用的技能を伸ばすことがこれまで以上に求められるようになったためである。汎用的技能は、OECD が実施する学力テスト PISA において測られる一般的な思考方法やコミュニケーションのあり方など、多様な価値観が共在する社会や組織で求められ、基礎スキルとしての読み書き能力や勤労週間に加え、社会的スキルとしてのコミュニケーション能力や対人関係能力、批判的・論理的思考能力も含まれている。

こうした研究をふまえ、大学でどのような能力を身につけた人が社会生活で組織人として活躍するかについて言及した中原淳ら<sup>[8]</sup>（2014）のように、学校から仕事への移行に関する研究も多く行われている。教育の質保証の重要性の高まりとあわせて、学習成果にかかわるデータを各機関は積極的に収集し、IR（Institutional Research）を進捗させることで、学術研究の枠を出て、データが示す客観的な知見を、機関の自律的な意思決定に用いようとしている。

一方、職業訓練に目を移すと、職業訓練（学卒者訓練）の成果としての汎用的技能の獲得について、受講者の意欲や学卒者訓練へのとりくみ方と技能の高さを検討した松本暢平ら（2017）<sup>[9]</sup>のように、皆無とは言えないものの、大学を対象とした諸研究ほどには蓄積が進んでいない。法令上学校教育にカテゴライズされないものの、「ものづくり」分野の専門的知識の獲得を目指す中等後教育として実施される学卒者訓練が、受講者にどのような影響や効果を与えているのかなどの研究は思いのほか少ないことは、職業訓練が教育に関する諸科学において、ほとんど扱われることのないミッシング・エリアだったことを示している。この分野においては、職業訓練を受講したことで、「ある人材が、何をできるようになったか」という点、つまり、専門的知識・技能に焦点があてられてきた。そのため、それらの専門的知識・技能とは異なる汎用的技能（たとえば、他者との円滑な関係維持に求められるコミュニケーション能力や、困難な状況への対応方法など、枚挙にいとまがない）は、学卒者訓練を含む職業訓練における、可視化された成果としての専門的知識・技能の影に隠れてしまっていた。学卒者訓練をはじめとする職業訓練が、その特質上、実験・実習やグループワーク等の協働作業を多く含むにもかかわらず、上述のように、専門的知識・技能の獲得の獲得に強い関心が向けられ、汎用的技能にはほとんど言及されず、十分に研究が蓄積されているとは今なお言いがたい状態にある。

上記の状況に鑑み、本稿は、学卒者訓練を事例として、以下の仮説、すなわち、能開大入学前から学卒者訓練に

積極的かつ自律的に臨む意思（動機）を持つ者で、学卒者訓練に精力的にとりくむ者は、動機を持たない者や、積極的にとりくまない者よりも汎用的技能を高く有している、を検証する。仮説を検証するため、以下2節に示すデータを用い、3節に示す分析枠組みにもとづき、能開大への入学動機、学卒者訓練へのとりくみ方と、汎用的技能との関連を、三重クロス集計と $\chi^2$ 検定により検討する。

## 2. 使用するデータ

本稿では、2016年7月にA県およびB県に所在する能開大の学卒者訓練受講者（専門課程1～2年、応用課程3～4年の合計4学年）に対して実施したアンケート調査から得られた607名分のデータ（回答率100.0%（欠席者を除く））を分析する。アンケートでは、能開大への入学動機（註[1]）（表1）を12項目、学卒者訓練へのとりくみ方（表2）を14項目、汎用的技能を合計49項目（ソーシャル・スキルを18項目、キャリア・アダプタビリティ17項目、リーダーシップ4項目、サーバント・リーダーシップ10項目）を尋ねた（註[2]）。なお、紙幅の都合から、能開大への入学動機として、本稿では、学卒者訓練への意欲を示すと考えられる「興味のある分野の勉強ができるから」、「将来の仕事に役立つような力を身につけたいから」の2つの変数に着目した。汎用的技能として、金子元久（2012）<sup>[2]</sup>が指摘するように、一般社会的な文脈において用いる技能としてのコミュニケーション能力や対人関係能力に特に着目し、菊池章夫<sup>[9]</sup>が作成したソーシャル・スキルを示す尺度 Kiss-18（表3）を構成する各変数を用いることとした。

表1 能開大への入学動機

1.	興味のある分野の勉強ができるから
2.	とりたい資格や免許が取得できるから
3.	就職状況がいいから
4.	キャンパスの雰囲気がいいから
5.	経済的な負担が少なかったから
6.	第一希望だったから
7.	自宅から通えるから
8.	両親のすすめがあったから
9.	将来の仕事に役立つような力を身につけたいから
10.	入試方式が自分に合っていたから
11.	卒業までの自由な時間を満喫したいから
12.	学校（高校）の先生のすすめがあったから

表2 学卒者訓練へのとりくみ方

1. 学校の授業の予復習をする
2. 授業に必要な教科書、資料などの道具は毎回持参する
3. 授業に遅刻しないようにする
4. 授業でわからなかったことは自分で調べる
5. 授業では黒板や配布資料に書かれていないこともメモやノートに書く
6. 授業中私語はせず、集中している
7. わからないことは先生に質問する
8. 授業で出された宿題や課題はきちんとやる
9. グループワークや討論に積極的に参加する
10. 幅広い視野や知識・教養を身につけたい
11. グループワークや討論でまとめ役を務める
12. 授業に関心を持ったことは自分で調べる
13. いい成績をとるようにしている
14. 将来仕事をするときに役立つ知識・技能を身につけたい

表3 ソーシャル・スキル (18 項目)

1. 他人と話していて、あまり会話が途切れないほうですか。
2. 他人にやってもらいたいことを、うまく指示することができますか。
3. 他人を助けることを、上手にやれますか。
4. 相手が怒っているときに、うまくなだめることができますか。
5. 知らない人とでも、すぐに会話が始められますか。
6. まわりの人たちとの間でトラブルが起きても、それを上手に処理できますか。
7. こわさや恐ろしさを感じたときに、それをうまく処理できますか。
8. 気まずいことがあった相手と、上手に和解できますか。
9. 課題をするときに、何をどうやったらよいか決められますか。
10. 他人が話しているところに、気軽に参加できますか。
11. 相手から非難されたときにも、それをうまく片付けられますか。
12. 課題上で、どこに問題があるかすぐにみつけることができますか。
13. 自分の感情や気持ちを、素直に表現できますか。
14. あちこちから矛盾した話が伝わってきても、うまく処理できますか。
15. 初対面の人に、自己紹介が上手にできますか。
16. 何か失敗したとき、すぐに謝まることができますか。
17. まわりの人たちが自分と違った考えを持っていても、うまくやっていけますか。
18. 課題の目標を立てるのに、あまり困難を感じないほうですか。

### 3. 分析枠組み

本稿は、Astin (1984)<sup>[10]</sup>やPascarellaら (1991) によって大学教育の効果検証に用いられた IEO

(Input-Environment-Output) モデルを分析枠組みとして用いる。IEO モデルにおける「I (Input)」を能開大への入学動機、「E (Environment)」を学卒者訓練へのとりくみ方、「O (Output)」を汎用的技能としてのソーシャル・

スキルとみなす。それにより、学卒者訓練へのとりくみ方とソーシャル・スキルとの関連の有無が、入学動機の違いによって変化するかどうかについて、各要素間の関連ばかりでなく I-E-O というフローを想定したパス効果から検討する。

#### 4. 分析結果・考察

##### 4.1. 入学動機「興味のある分野の勉強ができるから」、学卒者訓練へのとりくみ方「わからないことは先生に質問する」、ソーシャル・スキル「知らない人とでも、すぐに会話が始められますか」との関連

表 4 は、入学動機「興味のある分野の勉強ができるから」の有無、学卒者訓練へのとりくみ方「わからないことは先生に質問する」、ソーシャル・スキル「知らない人とでも、すぐに会話が始められますか」との関連をみたものである。入学動機を持っていた群では、学卒者訓練受講中にわからないことを指導員に質問する者は、知らない人とともに話せると回答した者が多かった。一方、入学動機を持っていなかった群では、指導員に質問する者とそうでない者との間で、知らない人とすぐに話せるかどうかに関して統計的な有意差は見られなかった。

表 4 「興味のある分野の勉強ができるから」、「わからないことは先生に質問する」、「知らない人とでも、すぐに会話が始められますか」との関連

		知らない人と		合計 (n)	p
		すぐに話せる	すぐに話せない		
興味ある 分野の勉強動機あり	先生に質問する	55.1	44.9	100.0 (184)	***
	しない	21.2	78.8	100.0 (214)	
なし	先生に質問する	32.9	67.1	100.0 (120)	
	しない	30.0	70.0	100.0 (76)	
合計	先生に質問する	41.7	58.3	100.0 (290)	***
	しない	24.7	75.3	100.0 (304)	

\*\*\*:  $p < .001$

##### 4.2. 入学動機「興味のある分野の勉強ができるから」、「グループワークや討論に積極的に参加する」、ソーシャル・スキル「まわりの人たちとの間でトラブルが起きても、それを上手に処理できますか」との関連

表 5 は、入学動機「興味のある分野の勉強ができるから」の有無、学卒者訓練へのとりくみ方「グループワー

クや討論に積極的に参加する」と、ソーシャル・スキル「まわりの人たちとの間でトラブルが起きても、それを上手に処理できますか」との関連をみたものである。表 4 と異なり、入学動機の有無にかかわらず、グループワークや討論への積極的に参加する者は、他者とのトラブルを処理できると回答する者が多かった。しかし、統計的有意水準をふまえて検討すると、入学目的を持っていた群では、積極的に学習にとりくむ者は、そうでない者よりもトラブル処理ができると回答した者が 0.1%水準で多かった。一方、入学動機を持っていなかった群では、統計的有意水準は 1%であった。ともに統計的な有意差を認めたが、入学目的を持っていた群のほうが、そうでない群よりもより厳密に統計的な有意差を見出せた。入学動機を有している者が、そうでない者より、グループワークや討論に参加し、他者とのトラブルを処理できるようだ。

表 5 「興味のある分野の勉強ができるから」、「グループワークや討論に積極的に参加する」、「まわりの人たちとの間でトラブルが起きても、それを上手に処理できますか」との関連

		トラブル処理		合計 (n)	p
		できる	できない		
興味ある 分野の勉強動機あり	討論に参加する	47.4	52.6	100.0 (253)	***
	しない	25.7	74.3	100.0 (144)	
なし	討論に参加する	49.5	50.5	100.0 (195)	**
	しない	40.5	59.5	100.0 (94)	
合計	討論に参加する	48.3	51.7	100.0 (354)	***
	しない	27.3	72.7	100.0 (238)	

\*\*\*:  $p < .001$ , \*\*:  $p < .01$

##### 4.3. 入学動機、学卒者訓練へのとりくみ方、ソーシャル・スキルとの関連（その他の組み合わせ）

表 4 および表 5 は、本節で検討した組み合わせの一部に過ぎない。紙幅の制約上、すべてのクロス集計表を掲載することはできないが、稿末の表 6 および 7 は、その他の組み合わせについて、統計的有意差の有無を示したものである。

稿末の表 6 および 7 より、入学動機「興味のある分野の勉強ができるから」、「将来の仕事に役立つような力を身につけたいから」という動機を持つ者が、それらを持たない者よりも精力的に学卒者訓練に臨むことで、ソーシャル・スキルを高めていた。特に、入学動機を持ち、学卒者訓練へのとりくみ方として、「グループワークや討論に積極的に参加する（学卒者訓練へのとりくみ方 9）」

「グループワークや討論でまとめ役を務める (同 11)」、「授業に関心を持ったことは自分で調べる (同 12)」と回答した者は、そうしない者よりも多くの項目でソーシャル・スキルが高いと認識していた。入学動機を持たない者についても、上記のとおりくみ方で精力的に学卒者訓練に臨めば、そうしない者よりソーシャル・スキルが高いと認識してはいたが、やはり、入学動機を持つ者のほうが、持たない者よりもソーシャル・スキルが高いと認識していることがわかる。さらに、学卒者訓練へのとりくみ方のうち「学校の授業の予復習をする (同 1)」「わからないことは先生に質問する (同 7)」とソーシャル・スキルとの関連は、入学動機を持つか否かにより、大きく異なっていた。

このことから、能開大入学時になんらかの動機づけを行うことで、ソーシャル・スキルの高さが変わることが示唆された。動機づけにより学習成果が高まるという因果は、容易に想像できるものではあるが、学卒者訓練を含む職業訓練においてまずもって求められる専門的知識・技能にとどまらず、動機づけがソーシャル・スキルのような汎用的な技能の高さにも関連することが明らかになった。いずれの教育訓練においても、受講者全員が高い就学意欲を有しているとは必ずしも言えない (不本意入学者はどの機関においても少なからずいる) が、仮に入学時に動機を持っていなかったとしても、早急に動機づけをアシストすることで、ソーシャル・スキル (場合によってはそれ以外の知識・技能も) が高まり得ることが推測される。

一方、入学動機の有無にかかわらず、職業訓練にある特定のとりくみ方をする者が、ソーシャル・スキルが高いと認識していることもわかった。これは、上記のような動機づけの重要性を否定するものではない。むしろ、教育訓練を機関が努めて充実させることの重要性や意義をあらためて示していると言えるだろう。

入学動機を持つ受講者が、学卒者訓練に精力的にとりくみ、好成績を納めることは容易に想像できるが、各表を通じ、入学動機の有無が汎用的技能の有無にも関連することがわかった。

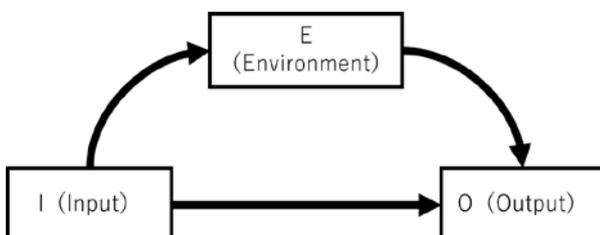


図 1 IEO モデル

## 5. おわりに—本稿の知見と今後の課題

前節までの分析結果から、本稿は、以下の知見を得た。

- (1) 能開大への入学動機「興味のある分野の勉強ができるから」、「将来の仕事に役立つような力を身につけたいから」を持つ者は、精力的なとりくみ方で臨むことで、動機を持たない者よりソーシャル・スキルが高いと認識していた。
- (2) 入学動機の有無にかかわらず、精力的に学卒者訓練にとりくむ者は、そうでない者よりソーシャル・スキルが高いと認識していた。しかし、一部のとりくみ方は、入学動機を持つか否かにより、ソーシャル・スキルとの関連に大きな違いがあるものもあった。

ただし、本稿の分析や知見には、課題も多く残されている。第一に、サンプルの選択である。本稿は、A・B という 2 つの県に所在する能開大の学卒者訓練受講者から得たデータを用いたが、分析では、課程、学年、専攻分野、学校差などがいっさいコントロールされていない。

第二に、変数選択の妥当性についてである。本稿では、三重クロス集計を用いたが、紙幅の制約上、学卒者訓練へのとりくみ方については、2 つの変数しかとりあげることができなかった。さらに、汎用的技能として扱ったソーシャル・スキルについても、厳密には、学卒者訓練を通じて伸びたことを想定して尋ねられていないため、学卒者訓練を受講したことで得た技能として、代理指標として用いられている。

本稿の分析は、上記以外にも分析上の制約や限界、課題を多く有するが、本稿が入学動機と知識・技能、あるいは、学卒者訓練へのとりくみ方と知識・技能という、二者関連を検討した先行研究 (たとえば松本 (2017)<sup>[8]</sup>) の知見をふまえ、入学動機、学卒者訓練へのとりくみ方、知識・技能 (本稿の場合はソーシャル・スキル) という三者関連を検討した点は、本稿の独自性のひとつといえる。本稿は、上記 (1) の知見のように、教育訓練のプロセスにおいて、ある一段階での動機やとりくみの有無ではなく、両者がフローとしてそろうことの重要性を示したことで、先行研究の知見を補完した。これまで手つかずだった「誰が学卒者訓練において知識・技能を得るのか」という、職業訓練の質保証にかかわる議論に踏み込むための一助とすべく、本稿の知見をふまえ、想定される諸課題を克服した分析モデルを検討し、別稿を用意したい。

### 参考文献

- [1] 小方直幸：「学生のエンゲージメントと大学教育のアウトカム」, 高等教育研究, 第 11 集, pp. 45-64 (2008).
- [2] 金子元久：「大学教育と学生の成長」名古屋高等教育研究, 第 12 号, pp. 211-36 (2012).
- [3] 両角亜希子：「大学生の学習行動の大学間比較—授業の効果に着目して—」東京大学大学院教育学研究科紀要, 第 49 巻, pp. 191-206 (2009).
- [4] 溝上慎一・中間玲子・山田剛史・森朋子：「学習タイプ (授

業・授業外学習)による知識・技能の獲得差異」, 大学教育学会誌, 第 31 号, pp. 112-119 (2009).

溝上慎一: 「大学生活の過ごし方」から見た学生の学びと成長の検討-正課・正課外のバランスのとれた活動が高い成長を示す-, 京都大学高等教育研究, 第 15 号, pp. 107-18 (2009).

- [5] 谷村英洋: 「大学生の学習時間と学習成果」 大学経営政策研究, 第 1 号, pp. 69-84 (2011).
- [6] 山田剛史・森朋子: 「学生の視点から捉えた汎用的技能獲得における正課・正課外の役割」 日本教育工学会論文誌, 39 巻, 1 号, pp. 13-21 (2010).
- [7] 中原淳・溝上慎一: 『活躍する組織人の探求: 大学から企業へのトランジション』 東京大学出版会, 東京 (2014).
- [8] 松本暢平・新目真紀・松本和重・小柳雅幸・平田彰: 「職業訓練を通じたソーシャル・スキルの習得」 職業能力開発研究誌, 33 巻 1 号, pp. 27-35 (2017).
- [9] 菊池章夫: 『社会的スキルを測る: Kiss-18 ハンドブック』, 川島書店, 東京 (2007).
- [10] Astin, A. W.: Student involvement: A developmental theory for higher education., *Journal of College Student Personnel*, Vol.25 (4), pp.297-308 (1984).
- [11] Pascarella, E.T., & Terenzini, P. T., *How college affects students: Findings and insights from twenty years of research*, Jossey-Bass, San Francisco (1991).

### 註

[1] 能開大への入学動機と学卒者訓練へのとりくみ方は, 「1. 全くあてはまらない」～「3. どちらともいえない」～「5. 非常に当てはまる」の 5 件法で尋ねた。分析では, 両変数ともに, 選択肢 1～3 を否定的な回答として, 選択肢 4～5 を肯定的な回答として扱った。

[2] ソーシャル・スキルは, 「1. いつもそうでない」～「5.いつもそうだ」の 5 件法, キャリア・アダプタビリティとリーダーシップは, 「1. 全くそう思わない」～「5. とてもそう思う」の 5 件法, サーバント・リーダーシップは, 「1. 全くあてはまらない」～「5. 非常に当てはまる」の 5 件法で尋ねた。分析では, 「3. どちらともいえない」に回答が集中しやすい傾向がみられたため, 選択肢 1～3 を否定的な回答としてソーシャル・スキルが低い群とみなし, 選択肢 4～5 を肯定的な回答としてソーシャル・スキルが高い群とみなした。

[3] 表 6、7 とも, 統計的有意差のあるすべての箇所、学卒者訓練へのとりくみ方に肯定的な回答をした者が、ソーシャル・スキルが高かった。

(原稿受付 2017/11/27, 受理 2018/5/9)

\*松本暢平

千葉大学, 医学部附属病院, 〒260-8677 千葉県千葉市中央区  
亥鼻 1-8-1

Yohei MATSUMOTO, Chiba University Hospital, 1-8-1 Inohana,  
Chuo-ku, Chiba, Chiba 260-8677.

Email: yoheimatsumoto@chiba-u.jp

\*新目真紀, 博士 (工学)

職業能力開発総合大学校, 能力開発院, 〒187-0035 東京都小平市小川西町 2-32-1

Maki ARAME, Faculty of Human Resources Development,  
Polytechnic University of Japan, 2-32-1 Ogawa-Nishi-Machi,  
Kodaira, Tokyo 187-0035.

Email: arame@uitech.ac.jp

\*平田彰

沖縄職業能力開発大学校, 〒904-2141 沖縄県沖縄市池原  
2994-2

Akira HIRATA, Okinawa Polytechnic College, 2994-2 Ikehara,  
Okinawa, Okinawa, 904-2141.

Email: hirata@okinawa-pc.ac.jp

表 6 入学動機 (「興味のある分野の勉強ができるから」)、学卒者訓練へのとりくみ方、  
ソーシャル・スキルとの関連 (註[3])

		ソーシャル・スキル (詳細な項目名は表 3 を参照)																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
1	入学動機なし群					+			*							+				
	入学動機あり群	**	**		*	**	*	*	*	***	*	**		**	+	**	*		**	
	合計	**	**		*				**	***	**	**		*		*	+		**	
2	入学動機なし群	*				*				*										
	入学動機あり群				*									+						
	合計				*									*						
3	入学動機なし群								+										**	
	入学動機あり群		*															+	*	+
	合計		*															+	*	+
4	入学動機なし群			**	+		*	*	+	**		*	**		*		+	+		
	入学動機あり群		*	**	+				*	***	*	***	**		+	+	+		*	
	合計		*	**	**		**	**	*	***	**	***	**		**	+	**	**	**	**
5	入学動機なし群							*				+	*	+	*			+	*	
	入学動機あり群	+			**	**	**	*			**	**	+	*	**	**	*	*	***	
	合計	+			**	**	***	***			***	**	***	***	***	**	**	**	***	
6	入学動機なし群		*							**										
	入学動機あり群		***	**	**		*	**	**	**			+				**			
	合計		***	**	**		*	**	***	***			**				*	*	+	
7	入学動機なし群	+								+	*			**		*				
	入学動機あり群	**			*	***	***	**	**		***	**	*	*		***	**	**	**	
	合計	***			*	***	***	***	**	**	***	**	**	***	+	***	**	**	***	
8	入学動機なし群		+						**	*	*		+	**		*			***	
	入学動機あり群		**	***		+	*	*	*	***			*			**			**	
	合計		***	***	**		**	**	***	***	*	**	**	**	+	***	*	*	***	
9	入学動機なし群	**			**	***	***	***	**		***	**	*	***	**	***	**	*	**	
	入学動機あり群	***	*	+	***	***	***	***	***	*	***	***	*	***	**	***	***	***	***	
	合計	***	*	+	***	***	***	***	***	*	***	***	**	***	***	***	***	***	***	
10	入学動機なし群		***	***						+				*		*		*		
	入学動機あり群		***	***		*	*	*	***		+			*		*		*	+	
	合計		***	***		**	**	***	*	**	*	*	*	+	*	**	***	*	*	
11	入学動機なし群	*			**	**	***	**	**	*	**	**	**	**	**	**		*	**	
	入学動機あり群	**	+		**	***	***	***	***		***	***	***	**	***	***	***	**	***	
	合計	***	+		**	***	***	***	***	**	***	***	***	**	***	***	***	**	***	
12	入学動機なし群		*	**	+			*	*		+	*	*							
	入学動機あり群	*	**	***		**	**	***	***	***	**	**	***	**	***	**	*	*	***	
	合計		***	***	*	**	***	***	***	***	**	***	***	**	***	**	**	*	***	
13	入学動機なし群			+	*		*	**	**			+	*	*			+	*		
	入学動機あり群		**	***	***		**	*	**	**	+	**	**	*	+		*		*	
	合計		**	***	***		***	**	***	***	**	**	***	***	*	+	**	**	*	
14	入学動機なし群				*					**	*			**	+	**	*		*	
	入学動機あり群				+														*	
	合計		+	**			+			***	*		+	**	*		***	***	*	

\*\*\*:  $p < .001$ , \*\*:  $p < .01$ , \*:  $p < .05$ , +:  $p < .1$

学卒者訓練へのとりくみ方 (詳細な項目名は表 3 を参照)

表7 入学動機（「将来の仕事に役立つような力を身につけたいから」、  
学卒者訓練へのとりくみ方、ソーシャル・スキルとの関連（註[3]）

		ソーシャル・スキル（詳細な項目名は表3を参照）																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1	入学動機なし群																		*
	入学動機あり群	**	***		*	*	*	*	**	***	*	**		*	*	*	+	**	
	合計	**	**		+	*	*	+	**	***	**	**		*	*			**	
2	入学動機なし群																		
	入学動機あり群														+				
	合計														*				
3	入学動機なし群																		+
	入学動機あり群	+				+	*												*
	合計		+															+	*
4	入学動機なし群				*					*				+		+		*	*
	入学動機あり群			*	*		*	*	**	***	*	***	***		**	+			***
	合計			***	**		**	**	**	***	**	***	***	*	***	+	**	**	**
5	入学動機なし群		*					*		**		*	+	*					*
	入学動機あり群	***	**	**	**	**	**	+	***	**	*	*	*	***	*	+		***	
	合計	+	***	***	***	**	***	***	*	***	***	**	***	***	***	**	**	**	***
6	入学動機なし群								+	*					+				*
	入学動機あり群		*	*		+	*	**		+	*			*				*	*
	合計		**	**		*	**	***	**		**			**			*	*	+
7	入学動機なし群									**									
	入学動機あり群	**	***	***	*	***	***	**	**	***	***	**	**	***	*	***	*	*	***
	合計	**	***	**	*	***	***	***	**	***	***	**	**	***	*	***	**	**	***
8	入学動機なし群				+					**									+
	入学動機あり群	*	*		*	***	***	**	**		***	*	*	*	*	*	***	*	*
	合計				**	**	**	**	**	***	*	*	**	**	**	***	*	*	
9	入学動機なし群	*	*	*	*	***	***	**	**		***	+		*		*	*	**	+
	入学動機あり群	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	**	***	***	***	***	*	***
	合計	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
10	入学動機なし群			+		+	**			*			+					**	
	入学動機あり群								+	*							+	*	
	合計			**		**	**	**	**	*	*	*	*	*	*	*	**	***	*
11	入学動機なし群	*	*	***	+	**	***	**	+	**	***	*	**			+	**	*	
	入学動機あり群	**	**	***	**	***	***	***	***	***	***	***	***	**	**	***	*	*	***
	合計	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	**	***
12	入学動機なし群	+		+						*	+	**	**						
	入学動機あり群		*		*	**	**	**	***	**	*	***	*	*	**	*	+	***	
	合計	*	***	*	**	***	***	***	***	***	**	***	***	***	**	**	*	***	
13	入学動機なし群			**	**	*		*	+			+			+	**			
	入学動機あり群	*	***	***		**	*	**	***	*	**	**	**	*	+	**	*	+	
	合計	**	***	***		***	**	***	***	**	**	***	***	*			**		
14	入学動機なし群			+									*	+				*	
	入学動機あり群									*								*	
	合計		+	**		+				***	*		+	**	*		***	***	

\*\*\*:  $p < .001$ , \*\*:  $p < .01$ , \*:  $p < .05$ , +:  $p < .1$

学卒者訓練へのとりくみ方（詳細な項目名は表10を参照）